

<p>新規就農者の素顔</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p>
<div data-bbox="225 282 715 651" data-label="Image"> </div> <p>氏名：菅原 篤史 住所：尼崎市猪名寺 年齢：28歳</p> <div data-bbox="156 813 539 1099" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="555 904 772 1032" data-label="Caption"> <p>たわわに実るいちご（品種：紅ほっぺ）</p> </div>	<p>栽培品目：いちご 農地：40a 施設：ビニールハウス 1600㎡ 育苗用ビニールハウス 260㎡ 経営内容：いちご 16a 労働力：本人、母、雇用3名 出荷先：個人直売所、JA</p> <div data-bbox="898 633 1358 976" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="884 987 1370 1043" data-label="Caption"> <p>尼崎市内の生産緑地にハウスを建設</p> </div>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農して良かった点、苦労した点</p>
<p>2016年 大学卒業 2016年 すまいるふぁーむ藤本で2年9ヶ月間農業研修 2018年 認定新規就農者に認定 2019年 尼崎市猪名寺で就農 2019年 いちご園開園 2021年 規模拡大 ハウスを増設 2021年 現在に至る</p>	<p>○良かった点、嬉しかったこと 就農地が都市部でお客様との距離感が非常に近く、直売所にご来店されたお客様から直接食べたご感想等を頂くのでやりがいを感じている。 ○苦労した点 ほぼ農業未経験で親も非農家出身なので1から栽培技術習得、独立の準備、家族の理解を得るのに苦労した。</p>
<p>農業をめざした動機・きっかけ</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>大学4年生の就職活動中に出会った、農業法人のトマト栽培へのこだわりに感銘を受け、そこで栽培されているトマトがとてもおいしく「栽培の技術の差でここまで味が変わるのか」と農業に興味を持ったのがきっかけ。</p>	<p>0から始める場合、就農場所や栽培する品目、販売方法など選択肢が多く迷うかもしれませんが。栽培品目等を決める前に「こんな農業がしたい」「こんなこだわりを持って野菜を作りたい」など漠然と企業理念やビジョンを持ちましょう。</p>